

生徒・保護者の皆様

いよいよ、来週 6 月 1 日より、学校を再開します。

全国的にも非常事態宣言が解除され、日常の生活が戻りつつあります。しかし、しばらくは、ウィルスの感染対策が続くことを覚悟しなければなりません。国際校として、次のような教育方針で、再開後の学校運営をまいります。

1. 感染予防・感染拡大防止を最優先とします。そのため、多岐にわたり不自由をおかけしますが、5月 25 日にご案内しました感染防止のマニュアルを順守してください。
また毎日の体調管理・検温のため、本日 Classroom で「日々の体調」(体調管理チェックリスト)を発信しますので、明日 5 月 29 日朝から、かならず入力をするよう、ご家庭でもご確認をお願いします。
2. 再開後の初めの授業で、授業担当教員より「授業シラバス」を配布します。当初の予定より大きく変更することになりました。今年度の授業計画及び休校中の学習成果の評価方法等をお知らせします。各教科による違いはありますが、各家庭のネット環境による不公平が生じない範囲で、Classroom 等のオンライン授業・提出物・課題への取り組み等を平常点として評価します。定期考査等の範囲とする場合は、その内容が明確になるようにします(文部科学省通知に準拠)。なお、3 年生の進路指導については、不確定な事項もたくさんありますが、情報収集に努め、速やかにお知らせするとともに、個別指導を軸に、今回の事態によって進路選択が不利益になることがないよう、全力でサポートします。
3. 2 か月の休校期間に実施しました Classroom 等を活用した ICT 教育は、自宅学習、生徒会などの自主活動、学校と生徒とのコミュニケーションツールとして、貴重な経験となりました。ICT を休校中の補充手段に終わらせず、短くなってしまった学校生活の時間を、より豊かにするための教育手段として活用して参ります。
4. 夏休みの短縮を含め当面の行事予定をお知らせしました。それ以降につきましても、感染防止および不足した授業時間等の確保の両面から、行事日程の見直しを行っている

きます。その際、いわゆる授業時間の確保だけでなく、国際校らしい行事や自主活動、そして友人たちと過ごす時間も教育活動として大切にしながら、皆さんの知恵をいただき、制約のある中でもバランスのとれた学校生活を目指します。

再開後も、さまざまな課題に直面すると思います。むしろ、これからが本当の試練かもしれません。皆さまのご理解とご協力を、これまで以上にお願いいたします。

2020年5月28日

南山国際高等学校

校長 山田 利彦